

溶連菌感染症流行下の1年間に当院で経験した溶連菌感染後急性糸球体腎炎(APSGN)のまとめ

対象

2023年7月1日から2024年6月30日までの1年間に溶連菌感染後急性糸球体腎炎で入院加療を要した患者さん

研究内容

2023年夏頃から溶連菌性咽頭炎の小児科定点当たりの報告数は増加傾向となり、劇症型溶連菌感染症の増加が世間を賑わせています。溶連菌感染後急性糸球体腎炎の発症者数も同様に増加傾向であると予想されますが、流行期に入ってから腎炎のまとまった報告はなく、当院での経験例の特徴を明らかにし、今後の管理や治療に活かすことを目的として、学会雑誌への投稿を予定しています。

データは匿名化されており、個人が特定されることはありませんが、ご自身およびお子様のデータの使用に差し障りのある方は、下記担当者までお申し出ください。

担当者

松戸市立総合医療センター

小児科 南

電話：047-712-2511（代表）／応対可能時間：9時から16時（平日のみ）